

## ●暑～い夏の爪痕…

今年の稲作は県内全域で平均1～1俵半程少ない収量に終わった。元々株が取れていない上に7月上旬からの高温と中干しが不十分だったことで着粒数も減少。更に出穂後の猛暑と水不足は稲の体力を著しく消耗させ、モミへの養分蓄積を妨げてしまった。

我々が金足農業の快進撃に熱中していた頃、稲も一番大事な時期を迎えていたが、水は来ない(圃場が緩むのを気にして水を控えていた人も…)夜温も高いで「俺もう投げられない」状態だったはずだ。その為いもち病が各所で発生。クズ米には真米に近い「惜しい」米が多数混じり、残念至極である。おそらく採種圃場でも同じ現象は起きているから、来年の種もみの質を考えると種子消毒や育苗には細心の注意が必要になるなあ。

…大事な時期に浮ついていた自分を「日々是反省」である…。



りんご晩成種の生育はやや小ぶりに推移。収穫時期は平年並かやや早まる予想。度重なる台風で落果やキズ果が多く農家の皆さんの心中は察するに余りあるが、贈答用、早出し用等、収穫日と選果には十分留意されたい。また降雪の恐れがある11月20日頃までに収穫を終え、雪害や小動物の食害対策(アンレス塗布、金網等の設置)も実施する。



例年と比べ遅い刈取りとなった米の集荷作業もやっと一区切りと言う所まで来ました。来年度用肥料農薬資材注文書の配布も併せて遅れております。皆様には大変ご不便をおかけしますが、今しばらくお待ち頂きますようお願い申し上げます(11月中旬～下旬予定)。

なお、先月号でも掲載しましたが、今年の不作を受けて来年度の施肥設計や除草体系等の見直しをお考えのお客様はお気軽にご来店、ご相談ください。

また種もみのご注文、数量変更につきましては数に限りがありますので出来るだけお早めにお願致します。

## 今月の農作業

### ●果樹

※果樹試行より

## 来春用農業資材

### 予約注文について

# 農業倶楽部通信

## 平成30年十一月号

発行：農業倶楽部  
よこて店  
H30.10.26 vol.47

営業時間  
**8:30～17:00**

定休日  
**土日祝日**

## 秋田県種苗交換会



秋田県種苗交換会  
10月30日～11月5日

第141回を迎える今年は秋田駅前を中心に開催されます。当社は秋田クボタさんのブース(第3会場)にて出店致しますので是非ご来場ください!

■開催日 10/30(火)～11/5(月) 9時から16時(最終日は正午まで)

■主会場 秋田拠点センターアルヴェ (農産物出品展示、JA地産地消展、学校農園展、石川翁森川翁展他)

▽第1会場 ぽぽろーど、アゴラ広場(駅西口周辺) (地産品販売、飲食、農業関連参考展示、ステージイベント、秋田の伝統芸能他)

▽第2会場 エリアなかいち (秋田の食・日本酒屋台、物産展、竿灯他伝統芸能、高校産業教育フェア、各種講演会、野外イベントも多数実施)

▽第3会場 旧秋田空港跡地 (農業機械展示・実演、農業資材店、各種屋台と物販、植木・苗木市他)

：その他、アトリオンや市役所での各種展示に加え、期間中毎日ロジエクションマッピングも上映されます。詳しくはホームページにてご確認ください。

## ★気になる今月のお天気★

10/27～11/26

平年同様に曇りや雨の日が多い予想で、週別の気温は1週目は平年並の確立50%で2週目は高い確率70%、3～4週目は平年並または高い確率ともに40%です。

降霜にご注意下さい。

気温	30	30	40
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

■(平年)以下 ■並 ■高い (%)

### 人と野菜のおもしろ栄養塾

第六回「珪酸(シリカ)の役割」

◆人…普段、意識して摂る事は無いが、成長期の骨にはたくさん必要。

◇野菜…土壌改良材として用いられる事が多く、植物の細胞を丈夫にし、食味や品質、日持ちが向上する。

(シリカは大森町の貴重な天然資源です)



「化学用品、医薬品等いろんな分野で使われる化学物質の一つ。健康食品も出回っておるが、安易な服用は禁物じゃ。」

### ◎編集者のつらやき…

放射冷却による朝の寒さが肌身に沁みる今日この頃。人にとっては利の無い寒さでも、りんご等の果樹にとっては絶対に必要な物です。今年はぶどうも夏の暑さで着色不良でしたし、りんごの方は台風で傷だらけ…。残ったぶどうは無事食卓に届きますように!

